



国の根本である 農業を守る Vol. 4  
信頼が繋ぐ、トマト栽培

能代市樋口

塚本正春さん(55)

「美味しいトマトを作るのはもちろん、ちゃんと規格内で、商品としてのトマトを作り続けなければいけない。その信頼関係が一番重要なんです。」と話すのは、トマト農家として今年で7年目を迎える、塚本正春さん。現在トマト20a(4千本)の他に、水稲80aなどを主に手掛けています。

「栽培で気を付けているのは、根の状態。根元がしっかりしないと良い玉が付かないし、病害虫の被害も受けやすい。」と塚本さん。またトマト栽培は管理が細かく、少しでもタイミングがズレる

と、まったく出来が違ってきます。毎日のチェックは欠かせません。

「JAをはじめ、たくさんの人に支えられながら、栽培を行っている。その信頼に応えるためにも、高品質なトマトを安定して作って、『白神トマト』のブランド強化に努めていきたい。」

現在、後継者の息子さんを含め、家族で経営している塚本さん。これまで築き上げた信頼と、その責任を忘れずに、更なる栽培技術の向上を目指します。

▼徹底した管理を心掛ける



▲手塩にかけたトマトを収穫